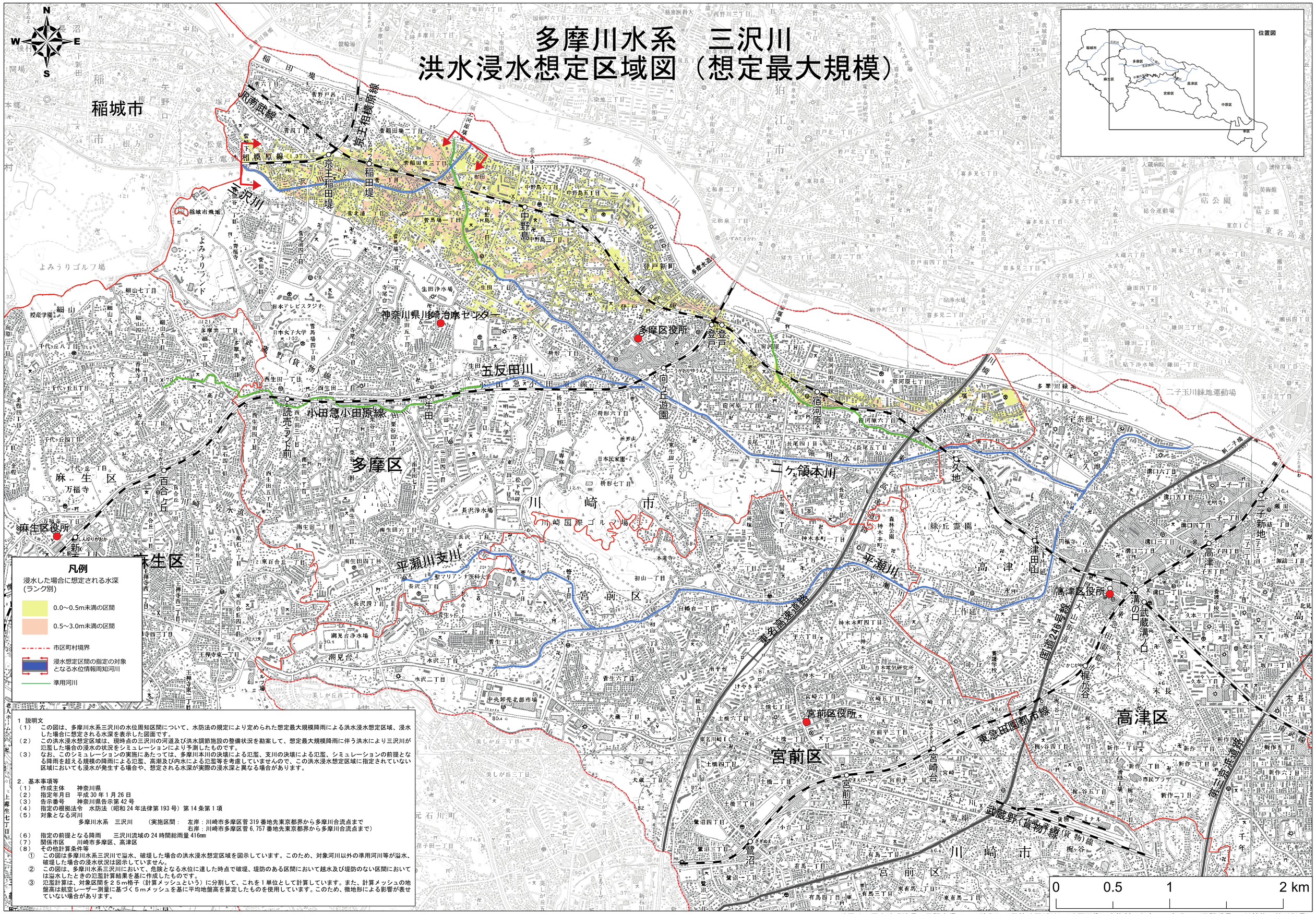
多摩川水系　三沢川
洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1　説明文

（1）　この図は、多摩川水系三沢川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）　この洪水浸水想定区域は、現時点の三沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により三沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）　なお、このシミュレーションの実施にあたっては、多摩川本川の決壊による氾濫、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）　作成主体　　神奈川県

（2）　指定年月日　平成 30 年 1 月 26 日

（3）　告示番号　　神奈川県告示第 42 号

（4）　指定の根拠法令　水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 1 項

（5）　対象となる河川

多摩川水系　三沢川　　（実施区間：　左岸：川崎市多摩区菅 319 番地先東京都界から多摩川合流点まで

右岸：川崎市多摩区菅 6,757 番地先東京都界から多摩川合流点まで）

（6）　指定の前提となる降雨　　三沢川流域の 24 時間総雨量 416mm

（7）　関係市区　　川崎市多摩区、高津区

（8）　その他計算条件等

①　この図は多摩川水系三沢川で溢水、破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、対象河川以外の準用河川等が溢水、破堤した場合の浸水状況は図示していません。

②　この図は、多摩川水系三沢川において、危険となる水位に達した時点で破堤、堤防のある区間において越水及び堤防のない区間においては溢水したときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③　氾濫計算は、対象区間を２５m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量に基づく５mメッシュを基に平均地盤高を算定したものを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1256号）